外国語教育メディア学会関西支部
第7次基礎理論研究部会 第8回研究例会開催のご案内

部会長 杉浦香織（立命館大学）
副部会長 平井 愛（関東学院大学）

◆ 日時：2013年 4月 21日（日）例会：13:30-16:30

*プロジェクトメンバーの方は、**10:30**までにご参集下さい。

*時間厳守でお願い致します。

◆ 場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス（K.G.ハブスクエア大阪）14階 1407教室

【所在地】〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー

【アクセス】http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/index.html

◆ 内容：

(1) 輪読： 藪内 智（京都精華大学）

[文献] Housen, A., Kuiken, F., & Vedder, I. (2012). Dimensions of L2 performance and proficiency: Complexity, accuracy and fluency in SLA (Language Learning & Language Teaching). John Benjamins Pub Co.

- Chapter 1: Complexity, accuracy and fluency: Definitions, measurement and research
(by Housen, Alex), pp. 1–20.

---《休憩》---

(2) 研究発表： 生馬 裕子（大阪教育大学）・平井 愛（関東学院大学）

[タイトル] 明瞭かつ流暢であるとの判断はどこからくるのか

—英語母語話者・非母語話者による発話の聴覚評定実験に基づいて—

(以上、敬称略)

◆ その他：

- ・ 輪読文献の発表担当者・章の決定
- ・ 今年度の例会開催日程の相談

以上

事務局：生馬裕子（大阪教育大学）

連絡先：fndmntlrsig@gmail.com